

2022年9月26日 第86回運輸政策セミナー

交通サイバーセキュリティ

～安全保障環境の変化やDXの進展等を踏まえた経営層の役割～

宿利会長 開会挨拶

皆様、こんにちは。運輸総合研究所 会長の宿利正史です。

本日も、ご多用中の中、大変多くの皆様にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

本日のセミナーでは、昨今のウクライナ情勢など安全保障環境の変化や経済安全保障法制の整備等を踏まえ、交通分野のサイバーセキュリティについて、官民の取り組みをさらに一歩進めるために何をなすべきかについて、皆さまと一緒に考えてみたいと思います。

運輸総合研究所では、2015年度以来、継続的に交通サイバーセキュリティに関する研究調査とセミナーを行ってきており、昨年11月には、オンライン経済活動やDXが進展する企業経営への新たな脅威とリスクコントロールを考えるためのセミナーを開催いたしました。同時に、セミナーにご参加いただいた皆様の疑問や問題意識などを把握するためのアンケートを実施し、本日まで登壇いただく名和利男様の監修のもと、サイバーセキュリティに関するフォローアップ情報をご参加の皆様に対しお届けいたしました。

その後、今年に入り、ウクライナ情勢をはじめ安全保障環境が著しく変化し、深刻な被害をもたらすランサムウェア攻撃等のリスクが一層高まっています。また、本年5月に経済安全保障推進法が成立し、6月には「重要インフラのサイバーセキュリティに係る行動計画」が改定され、サイバーセキュリティに関する経営責任及び体制強化がより明確に位置付けられました。

このような状況の中で、経営層の意識改革とともに、CISO（最高情報セキュリティ責任者）等による組織を挙げた体制強化がより一層重要になっていることから、本日は、特に経営層の役割に焦点を当てたセミナーを開催することとした次第です。

まず最初に、サイバーセキュリティ実務の第一人者であり、先程ご紹介しました株式会社サイバーディフェンス研究所専務理事の名和利男様から、ウクライナ情勢下で発生した「重要インフラサービス」へのサイバー攻撃のレビューと教訓についてご講演いただきます。

次に、国土交通省サイバーセキュリティ・情報化審議官の高杉典弘様から、重要インフラのサイバーセキュリティ対策に係る国土交通省の取り組みと重要インフラ4分野、すなわち航空、鉄道、物流及び空港関係の事業者からなる交通ISACの活動及び今後の課題等についてご講演いただきます。

続いて、「CASE」と呼ばれる、100年に1度の大変革期を迎えている自動車業界におけるサイバーセキュリティの最新動向について、株式会社デンソーでセキュリティ業務を統括されている情報セキュリティ推進部製品セキュリティ室長の平永敬一郎様からご講演いただき

ます。

最後に、サイバーセキュリティを高めるために経営層が踏まえるべき点について、株式会社資生堂・情報セキュリティ部長(CISO)の斉藤宗一郎様からご講演いただきます。斉藤様はインシデント発生時にセキュリティの現場と経営層との橋渡しを行っておられ、これまでの実際のご経験を踏まえてお話しいただきます。

4名の方の講演の後に、サイバーセキュリティに関する様々な審議会の委員長等を歴任されている情報セキュリティ大学院大学の後藤厚宏学長にコーディネーターとなっていただきまして、各講演の総括とともに皆様と質疑応答を行います。

また、前回のセミナーと同様に、ご参加いただいた皆様の疑問や問題意識などを把握するためのアンケートを実施し、名和利男様の監修のもと、サイバーセキュリティに関するフォローアップ情報をご参加の皆様にお届けする予定です。

本日のセミナーがご参加いただいております多くの皆様方にとりまして真に有益なものとなりますことを期待いたしまして、私の挨拶といたします。

本日は誠にありがとうございます。